

イチキ大工通信

NO.15

引越し&棚補修編

お問合せ

mobile:080 (1059) 1426

mail:info@ichiki-daiku.com

新築おめでとうございます！

遂に引越しが終わりました！くでん学童保育所の皆さん、学童の新築、おめでとうございます！本当に長い長い道のりでした。私は施工者としても、プロジェクト係としても関わらせていただきましたが、様々な障害にぶち当たり、頭を悩ませることもたくさんありました。しかし、引越し後の子どもたち始め先生、保護者の皆さんの喜んでくださる顔を見て、この笑顔のために、プロジェクト係の皆さんと共に頑張ってきたことを再認識しました。長い時間、本当にお待たせしました。そして、ご理解ご協力をいただき、本当にありがとうございました！

また、この工事をきっかけに、学童っ子とたくさん関わり、交流することができた時間は、本当に宝物となりました。同時に、素直でかわいい子どもたちの姿が日々の先生方の保育のお陰であることも実感しました。いつも本当にありがとうございます！

くでん学童保育所の本当の始まりはこれから！学童が新しくなったことで、更に地域に開けた場所となっていくこと、子どもも大人も笑顔で集まり、益々発展していくことをとても楽しみにしています！



施工者として

我が子もこの学童に通わせてもらい、お世話になっているのですが、これから施工者としては、この学童が建っている間中、何か不具合があった際には、いつでも補修やメンテナンスなどをしていくつもりです。なるべくお金をかけず、私自身がメンテナンスできるように…という見通しも含めて、木を主に使っています。木であれば部分的な補修がしやすいからです。



また、子どもたちに引き続き大工という仕事を世の中の一つの職業として、また木に触れる面白さを感じてほしいため、木工教室なども毎年行っていきたくと思っています。

今後も、よろしくお願いします！

みんなとたくさんの経験ができてとても楽しかったです！

同じ年の神保先生とも更に仲が深まりました！

子どもたちと古い棚の塗装をしました！

プロジェクト係で建て替え計画を立てている際、「すべてが新しくなるのは、どことなく淋しさもあるから、まだ使える棚を再利用してはどうか？」という話が出ていました。

引っ越し直前の二日間を使って、建て替え工事中の現場で、子どもたちと旧学童で使用していた棚の塗装をしました！

子どもたちに「自分たちで塗った！」という満足感を感じてほしいので、少し作業を増やして、塗装する前にやすりがけするための道具作りから行いました。そのやりとりはとてもかわいいものでした。

市来（以下、市）：「（試作した道具を見せて）この道具を作りたいんだけど、板と取っ手、どうやって付けたいと思う？」

子ども（以下、子）①：「ボンド！！」

市：「ボンドかぁ！ボンドはね、つけて時間をかけて乾かさないとくっつかないんだよ～。今すぐつけたい！！」

子②：「のり！」

市：「のりで木はつくのかなぁ…」

子③：「テープ！！」

市：「テープねえ…よく考えてみて、ここは大工さんがいるよね、大工さんは何で木をくっつける？」

子①：「あー！！！！釘！！！」

市：「ハイ正解！！じゃあ、どこにどうやって釘を打てばいいかな？」

…するとみんな木をジーっと見てこっちかな？それともこっちかな？とじっくり考えていました。



子どもたちで意見を出し合って、ここに打つのがベスト！という場所を見つけ、ちょうどいい場所に釘が打てるよう、慎重に打っていきました。

難しくて、釘がはみ出たり曲がったり、苦戦もしていましたが、夢中になって作る子どもの表情がとても可愛かったです！

自分で作った道具にサンドペーパーを貼ってゴシゴシみんなでこすりました！

